

地域経済研究所活動報告 —2009年度—

<共同研究事業>

1) 「コミュニティ・サービス・ラーニングを取り入れた体験型学習の方法

— ボランティア活動が持つ潜在的な教育力と地域との共生 —

○研究目的：本学の教育理念は「自主と自由」「全人教育」「地域との共生」と、「地域に有為な人材を輩出する・有為な人材を育成する」という社会的使命・教育目的であり、それは、「社会力」の豊かな人間を育てることである。そこで、アカデミックな学問と、ボランティア活動が持つ潜在的な教育力というものを結びつけ、新しい学びを創りあげていくボランティア活動が持つ教育力を確認し、新しい論理性や実践を切り開いていくために、「コミュニティ・サービス・ラーニング」を取り入れた体験型学習の方法を示唆することを目的とする。

○研究期間：2009年4月1日～2010年3月31日

○研究者：研究代表者・樋下田邦子 経済学部准教授

共同研究者・高橋正紀 経営学部教授

神谷拓 経営学部講師

※この共同研究の一環として、「コミュニティ・サービス・ラーニング」講演会を開催。

・開催日：2009年7月8日(水)

・参加者：150名(学生、一般市民、自治体関係者)

2) 「岐阜県における農業協同組合の歴史的な形成過程の検証」

○研究目的：岐阜県における農業協同組合の発展過程をまとめ、協同組合学会等の学会にて報告するとともに、岐阜県農業協同組合連合会に対して再編後も地域の生産者・消費者を一体のものとし、生産者・消費者本位の農協運営のあり方を提言する。

○研究期間：2009年10月1日～2010年2月28日

○研究者：研究代表者・鈴木誠 経済学部教授

渡辺優 岐阜経済大学大学院生

小川尚紀 岐阜経済大学大学院生

<公開講演会>

○実施日：2009年1月21日(木)

○テーマ：「自治と協働のむらづくり～阿智村が全国に伝えたい『地域主権』論」

○場所：岐阜経済大学 9401教室(9号館4階)

○講師：岡庭一雄氏(長野県下伊那郡阿智村 村長)

<研究会>

○実施日：2010年2月26日(金)

○テーマ：「はりんこの保全と郷土力」

○場所：岐阜経済大学 6102教室(6号館1階)

○講師：

1) 「ハリヨを守る会NPO化へ」 勅使川原重三氏(下池西部土地改良区 事務局長)

- 2) 「はりんこネットワーク 20年のあゆみ」 柳 瀬 崇 氏 (中川連合自治会長)
- 3) 「タナゴの研究から」 北 島 淳 也 氏 (名古屋大学大学院生)
- 4) 「はりんこの研究と保全としての郷土力」 森 誠 一 (本学経済学部教授)